

外部評価報告書（2021年度）の評価意見から改善が望ましいとされる点に対する対応

（1）温室効果ガス排出量・エネルギー使用量

| 評価意見 | 対応状況及び対応の方向性 |
|-----------------------------------|---|
| 政府目標等外部の状況に照らし合わせた目標再構築を検討いただきたい。 | 2022年3月に「町田市第5次環境配慮行動計画」を策定し、町田市役所から排出される温室効果ガス排出量の削減目標について、これまでよりも一段高い目標値として、「2030年度までに2013年度比で46%削減」という数値目標を設定しました。 |

（2）資源（廃棄物・紙）

| 評価意見 | 対応状況及び対応の方向性 |
|---|---|
| 土木・公園サービスセンターにおいて、2019年度分の廃棄物排出量（事業系一般廃棄物について）が把握されていないことについて、再発防止策を講じる必要がある。 | 把握漏れがあったことについて、市長総括により、再発防止の指示を行いました。また、部長級による省エネ等対策会議で把握漏れがあったことを取り上げ、再発防止の周知を行いました。 |

（3）グリーン購入達成率

| 評価意見 | 対応状況及び対応の方向性 |
|---|--|
| 小中学校以外のグリーン購入達成率は2019年度よりも1.2ポイント上昇し88%になっている一方、小中学校においては2.6ポイント低下の74.4%にとどまっている。ただ、小中学校のなかでも学校ごとに達成率にバラつきがあるようであり、達成率の高い学校による調達状況や工夫等に関する情報を共有し、水平展開していくことが望まれる。 | 2021年度の達成率は81.1%となり、前年度より1.7ポイント上昇しました。全体の達成率と各部署・各学校の達成率を2022年9月に全庁に通知し、注意喚起を行いました。2022年度中に、達成率の高い事例についての全庁共有も行う予定です。 |
| これまでも同様の指摘をしてきたところであるが、グリーン購入適合品がそもそもない品目については、達成率の算定にあたり分母から差し引くことも検討して良いのではないかと。 | 適合品がない品目を除外することについては、除外するかどうかの判断を個別に行うことが難しいと考えています。その一方で、多くの対象品目については、市場に適合品が流通しているものと認識しています。そのうえで、適合品が見当たらない場合については、担当課から環境政策課の事務局に対して問い合わせを受け、そもそも対象品目に当たるかどうかを判断することなども行ってまいります。実際にあったケースとして、感染症予防のための「飛沫防止の机上パーティション」について適合品が見当たらないとの学校からの問合せに伴い、会員登録を行っているグリーン購入ネットワーク事務局に相談し、「対象外」としたケースもありました。今後も、担当者が円滑にグリーン購入を行えるよう、サポートをしていきたいと考えています。 |

(4) エコオフィス活動（職員共通・施設担当部署）

| 評価意見 | 対応状況及び対応の方向性 |
|----------------------------------|---|
| 昼休みの照明消灯は、来訪者が少ない階での実施を徹底すべきである。 | 昼休みの照明消灯について、市庁舎において、窓口業務の少ないフロアは、高い実施率となっています。窓口業務のある職場についても、カウンター付近のみを点灯し、事務スペースのエリアは消灯するなど、工夫しています。引き続き、市民サービスに影響のない範囲で徹底するよう啓発を行っていきます。 |

(5) 研修の実施

| 評価意見 | 対応状況及び対応の方向性 |
|--|--|
| 学校での研修受講率が低いのは恒常的な繁忙もあると思うが、社会的な背景を考えると従来以上に優先度を上げるテーマとして再検討してほしい。 | 環境を保全し、より良い環境を実現していくため、次世代を担う子どもの環境教育は非常に重要であると考えています。市で行っている環境マネジメントシステムの動画研修は、小中学校の教職員も対象としています。学期中は業務が繁忙なため、受講が難しいことを考え、冬休み等を含んだ長期の受講期間を設定し、受講しやすい環境を整えるよう、工夫しています。 |

(6) 環境法令の遵守

| 評価意見 | 対応状況及び対応の方向性 |
|---|---|
| 不適合件数が前年度より大幅に減少してはいるものの、不適合が少なからずある状態は問題である。速やかな是正とともに、再発防止策を徹底されたい。 | 速やかな是正と再発防止を徹底するため、不適合案件について、是正結果の確認を早期に行うこととします。 |